

宗青圖書公司印行

宋史河渠志索引

漢學索引集成
蔣致遠主編

宋史河渠志索引

佐伯富編

省心書房

宋史河渠志索引

佐伯富編

中華民國75年5月初版

出版者：宗青圖書出版公司

發行人：蔣致遠

發行處：宗青圖書出版公司

台北郵政22034號信箱

電話：(02)941-4553

郵政劃撥第0119411-8號

局版臺業字第1825號

精裝1冊

定價新台幣 500元

序

（宋史河渠志）

自 1950 年至 1974 年的 25 年間，我在京都大學研究所，以李燾的續資治通鑑長編爲講課主題，其中最感困難之處，莫過於諸制度及許多意義不明的相關用語。

自宋代以後，獨裁政治發達，受其影響而實施的財政經濟政策，以及庶民日益勃興的趨勢、經濟社會的發展趨於複雜化等，使得官制、制度和法律也愈來愈複雜，隨之而出現了許多特殊用語。其中有許多制度和用語，並未記載於過去的字典、書籍中，必須仰賴自己蒐集許多這些制度、用語的例子，以作歸納性的解釋，除此以外別無他途。至於作宋史諸志索引，雖然無法囊括盡全，但仍不失爲這種方法的應用。我所以編纂宋史職官志、刑法志、兵志（以上已經出刊）及選舉志的索引，亦即爲了此目的。當索引完成之後，意外地發現許多原來不明之處，竟然能夠輕易地解釋清楚。至於河渠志的索引，也是爲了應上述需要而編纂的，因爲最初只供我講授長編之需，所以倉卒完成，但已足敷使用。

以前，基於學界的殷殷盼望，我最先刊行了宋史職官志索引，接著又刊行了宋史刑法志、宋史兵志的索引。未予刊印的宋史河渠志及選舉志索引，既然已經編纂完成，又何忍任其束諸高閣；於是在 1976 年，自中華民國臺灣歸國後，仔細地作了好幾次語彙的增補。在宋史河渠志索引中，除了有人名、地名、官職及年號外，還採錄有山岳、河水、湖泊、塘浦、港灣名、河川工事、農業用語及其他一切名詞。既爲河渠志，當然包括河川工事及水利的有關記載，除此以外，關於農田、漕運、水上交通的記載也相當多，對於宋代河防、財政、經濟、地理、交通等的研究，提供了絕佳的資料，所以本

索引應有相當的利用價值。

我編纂索引固然是爲了前述目的，但另外還有一個大願望在支持著我。如果以特定時代的資料研究一件事象的話，不論其研究作得多麼精細，總難以說明其所含的歷史意義。所以，我們在研究中國的悠久歷史時，應該研究它與其他世界的關聯性，也就是站在廣範圍的世界史立場上，蒐集資料並思考它所代表的意義。但是，一個人的能力到底有限，憑一人之力很難作得完全，可是如果只是中國的部分，還是有相當的可行性，而使其付諸實現正是我衷心的期望。若能完成中國各時代的代表史料索引，相信能使我的願望達成某一程度。

所謂歷史，可說是一種評價的學問，但在評價之前，必須蒐集詳盡的資料，並對這些累積而成的充足資料，作透徹的解釋，方能作公正的評價。倘若本索引對研究者蒐集資料有所裨益，那將是編者最感高興之事。

本索引之付印，得力於青山定雄博士的幫助甚多；又，省心書房的鎌田博氏，無慮於除專門研究者外，可能毫無銷路的現實問題，慨然答應出版本書，本人特在此對兩位致最深謝意。

一九七九年四月二十一日

於滋賀縣

佐伯富

1. 本索引蒐集摘錄了包含於「宋史河渠志」(卷 91 ~ 97) 中的官職名、人名、地名、山川名, 和與河渠有關的塘浦、提婦、港灣、渠淀名, 以及有關河工用語、刑法、經濟、制度等語彙, 及其他名詞, 按照發音式五十音順排列。但, 爲了檢索方便, 同一文字者集於同處; 同音者, 由筆劃少的依序排到多的; 同者同筆劃時, 則依照康熙字典的文字排列順序排列。卷末附有筆劃索引, 以便使用者利用, 在筆劃方面, 原則上盡量避免使用簡體字。
2. 年代表是將「宋史河渠志」中出現的年號、年代依年代順序排列而成, 要由年代探索有關河渠的記載時, 可用及此表。至於同一件事的記載, 都集中於同一年代中, 可以依此比較檢討記載的異同。
3. 括弧〔 〕內的文字, 是爲了使語句的意義更爲明確, 其中有編者補充的字句, 以使意思完整, 也有編者所造的語句, 以解釋其意。例如〔收成〕即屬後者, 表示穀物豐歉之意。
而括弧()內的文字, 則是編者所加, 以限定或說明語句的意思。例如「歲課(酒)」是指酒的歲課之意, 「周圍(西湖)」是指西湖周圍的意思。
4. 本索引中, 除了有「中國禦邊之利」、「黃河東流之利」的項目, 以表示界河與黃河之外, 還設有「利(中國禦邊之利)」、「利(黃河東流之利)」項, 以使一目了然河川爲邊防或水利所帶來的種種方便。「害(敗田破稅之害)」、「弊(鑊重載留滯之弊)」亦爲同樣情況。
5. 本索引所列的頁數、表背面(a、b)、行數都以圖書集成本爲底本,

下面是與其他版本的頁數作比較，所得比例的對照表。

圖書集成本	10	百衲本	26
南監本	25	北監本	26
竹簡齋本	6.5	五省局本	17

6. 本索引所摘錄的語句、名詞，都以圖書集成本和百衲本校堪訂正過，百衲本明顯有誤時，則採用原本；若原文中出現明顯的錯誤，則訂正後再予摘錄。

目 次

は し が き.....	佐 伯 富.....	1
凡 例.....		4
年 代 表.....		7
索 引 本 文.....		19
検 字 表.....		200

は し が き

私は昭和25年（1950年）から49年（1974年）まで、25年に亘って京都大學において、李燾の續資治通鑑長編を大學院の演習として講讀した。最も困難を感じたことは、諸制度やそれらに關する用語の意味の不明のものが多くあることであつた。

宋代以後になると獨裁政治の發達、それに伴う財政經濟政策の實施ならびに庶民の勃興による經濟社會の發展や、その複雑化等から、官制・制度・法律などは益々複雑になり、それに従つて特殊な用語が多數現われて來た。ところがそれらの制度や用語については、在來の辭典・字書には掲載されていないものが多い。勢いそれらを解明しようとすれば、自らそれらの制度や用語例を多數蒐集して歸納的に解明するより外に方法がない。それにはたとひ不完全であっても宋史の諸志の索引を作るのが一つの方法である。私が宋史の職官志・刑法志・兵志（以上既刊）選舉志の索引を編纂作成したのはこれがためである。索引を作成してみると不明の點が案外容易に解明される所が多かつた。河渠志の索引も如上の必要から編纂したものである。最初はまったく私の長編講讀の必要から倉卒に作成したものであり、それでも充分用を足すことが出來た。

ところで、これまでに學界の要望もあつて最初に宋史職官志索引を刊行してから、ついで宋史刑法志・宋史兵志の索引も刊行した。残るのは宋史河渠志と選舉志の索引である。折角作成したものを、このまま放置するに忍びず、昭和51年、臺灣から歸國して以來、數回に亘つてかなり綿密に語彙の増補を行なつた。宋史河渠志索引においては人名・地名・官職・年號はもちろんのこと、その採録する所は山岳・河水・湖淀・塘浦・港灣名あるいは河工・農業用語その他あらゆる名辭に及んでいる。河渠志には河工・水利に關する記事を多く含むのは當然であるが、農田・漕運・水上交通などに關する記載もかなり多く、宋代の河防や財政・經濟あるいは地理・交通等の研究には絶好の資料を提供するので、本索引はかなり利用されうものと思う。

私が索引を編纂するのは如上の目的のほかに、もう一つ大きな期待がある。ある事象を特定の時代の資料だけによって、それをいかに精細に研究したところで、その歴史的意味は仲々解明されるものではない。中國の長い歴史の上から、更には他の世界との聯關の上から、いわば廣範な世界史的な立場から資料を蒐集してその意味を考えなければならない。しかし人間個人の能力には限界があり、一人の力では如何ともしがたい。それでも出来ることならば、少なくとも中國だけに限ってもそういう研究が出来るように、實現に近づきたいのが私の念願である。そのためには中國の各時代の代表的な史料について索引を作成すれば、それはある程度可能なはずである。

歴史とは評價の學問であるといわれるが、その評價の前には、やはり周到な資料の蒐集が是非必要である。その評價は充分な資料の積重ねとその資料に對する透徹した解釋とによって始めてなさるべきものである。そういう意味において本索引が研究者の資料蒐集に役立てば編者の喜びこれに過ぐるものはない。

本索引の上梓については青山定雄博士の御斡旋による所が大である。また省心書房の鎌田博氏は、地道な研究者を除いてはあまり販路のない本書の刊行を快く引請けて下さった。ここに特記して兩氏に厚く御禮申し上げる次第である。

昭和五十四年四月二十一日

滋賀の里にて 佐 伯 富

目 次

は し が き.....	佐 伯 富.....	1
凡 例.....		4
年 代 表.....		7
索 引 本 文.....		19
檢 字 表.....		200

凡 例

1. 本索引は『宋史河渠志』(巻91~97) 中に含まれる官職名・人名・地名・山川名、河渠に関する塘浦・堤埭・港灣・渠淀などの名、河工用語・刑法・經濟・制度に関する語彙、その他あらゆる名辭・語彙を蒐集摘録し、これを發音式五十音順に排列したものである。但し、檢索に便利なように同一文字は同一箇處に集めた。また同音のものは劃數の少ないものから多いものへ、同音同劃のものは康熙字典の文字の排列の順序に従った。また卷末には筆劃索引を附して利用者の便を計った。筆劃は原則として略字を避けることとした。
2. 年代表は『宋史河渠志』中に見える年號・年代を年代順に排列したもので、河渠に関する記載を年代から逆に探索涉獵する際に役立ち、また同一記事があれば年代によってこれを發見することが出來、その記載の異同を比較検討することが可能である。
3. 括弧〔 〕内の文字は語句の意味する所を明確にするため、編者が意をもって補ったもの、もしくは編者が造成した語句である。例えば「收成」は後者に屬する。穀物の豐凶を示す意味に使用している。
また括弧()内の文字は語句の意味する所を限定あるいは説明するため編者が加えたものである。例えば、「歲課(酒)」は酒の歲課の意、「周回(西湖)」は西湖の周回の意味である。
4. 本索引では例えば「中國禦邊之利」・「黃河東流之利」という項目を出して界河や黃河を示す外、「利(中國禦邊之利)」・「利(黃河東流之利)」という項目をも別に設けて、河川が邊防や水利等諸種の利便のあることを一目して理解出来るように配慮した。「害(敗田破稅之害)」・「弊(蠲重載留滯之弊)」などもこれと同斷である。
5. 本索引は圖書集成本を底本として葉數・表裏(a,b)・行數を示した。他の刊本の葉數との割合を表わす對照表を示せば次の通りである。

圖書集成本 10

百納本 26

南監本 25 北監本 26

竹簡齋本 6.5 五省局本 17

6. 圖書集成本は百衲本と校合し、訂正したものについて語句・名辭を摘録した。もっとも明らかに百衲本の誤りと思われるものは原本によった。また原文中、明らかに誤りと思われるものは訂正して摘録した。

年 代 表

隋 以 前

周齊之間	95, 7b2
春秋	93, 7b4
春秋時吳	96, 4b12
秦	97, 10b10
漢	91, 3b8
	93, 7b10
	93, 8b1
	95, 11b13
	97, 1b4
	97, 10b7
[漢]孝文時	93, 7b10
漢吳王濞	96, 4b13
五鳳中	93, 7b11
後漢	97, 10a13
永和五年	97, 6b2
靈帝建寧四年	93, 7b3
兩漢而下	91, 3b7
漢魏以來	94, 9a8
東晉大和中	93, 7b7
義熙十三年	93, 7b7
後魏正始二年	95, 7b2
隋	96, 4b13
隋大業初	93, 6b7
隋煬帝大業三年	93, 7b8
隋大業中	95, 7b2

唐 代

唐初	93, 7b11
唐	93, 6b7
	93, 8b1
	96, 5a6
	97, 1a12
	97, 2b10

開元中	97, 7a10
開元末	93, 7b12
至德	93, 7b13
永泰間	97, 7b9
德宗朝	97, 5b7
寶曆初	93, 8a2
唐末	97, 10b8
	95, 7b3

五 代

五代	95, 7b3
梁開平中	97, 2a6
石晉末	92, 5b4
周顯德初	91, 1b4

宋 代

宋初	97, 6b3
	97, 10b9
國初	93, 9a13
宋	91, 1a12
	93, 6b7
	97, 2b9
祖宗時	93, 9a9
祖宗百年以來	94, 2b9
本朝以來	92, 7b5

太 祖

建隆二年	94, 4b5
	94, 4b11
正月	94, 5b6
三月	94, 5b7
春	93, 6b12
	94, 6b3
四月	94, 4b6

[景德四年]五月	95, 7a8
景德中	95, 4a3
大中祥符元年六月	94, 5a2
二年四月	94, 5a3
八月	93, 8b5
九月	94, 6b6
三年	94, 7b4
十月	91, 3a5
明年(四年)	91, 3a6
六月	95, 7a11
九月	91, 3a6
五年	97, 2a8
正月	91, 3a6
三月	94, 7b5
七年	91, 4a1
	97, 2a9
四月	95, 7a10
八月	91, 4a2
八年	91, 3a9
	91, 4a2
六月	93, 8b6
八月	93, 8b7
九年	94, 5a4
四月	94, 5a5
大中祥符間	97, 1b4
天禧元年	96, 1a8
	97, 5a7
二年	96, 1a11
明年(三年)	96, 1a13
六月乙未	91, 4a4
十二月	93, 8b11
四年	96, 1b1
是年(四年)	91, 4a6
二月	91, 4a6
六月	91, 4b6
五年正月	91, 4b7
天禧末	95, 7a11
天禧中	91, 7a5
	96, 5a1
天禧以來	91, 6b13

91, 7a5

仁 宗

仁宗朝	93, 2b1
天聖改元	97, 1a12
天聖元年	91, 5b4
八月	94, 7b6
二年	91, 5b5
二月	94, 5a5
七月	94, 7b7
三年	93, 8b13
四年	93, 8b13
閏五月	95, 7a13
五年	91, 5b6
八月	94, 5a6
十月丙申	91, 5b6
十二月	91, 5b7
六年	93, 9a1
七月	94, 6a2
八月	91, 5b7
七年	93, 9a2
	94, 5a8
八年	91, 5b8
天聖以後	95, 4a10
明道二年	91, 5b9
	95, 4b3
景祐元年七月	91, 5b9
二年	95, 4b11
景祐中	97, 2a11
寶元元年十一月己未	95, 4b12
慶曆元年	91, 5b10
三月	91, 5b11
是歲(二年)	95, 5a7
三月己巳	95, 4b13
四月庚辰	95, 5a2
七月	95, 5a5
三四年	91, 7a9
四年正月乙酉	91, 5b13